

平成 30 年版

名古屋市

青少年交流プラザ年報

子ども青少年局

目 次

I	目的	1
II	経緯	1
III	施設のあらまし	
1	青少年交流プラザ（本館）	
①	施設概要	2
②	平面図	3
2	青少年宿泊センター（分館）	
①	施設概要	4
②	平面図	5
IV	平成 29 年度事業基本方針	
1	目標	6
2	事業推進の具体的な方向性	6
V	平成 29 年度事業報告	
1	人につながる支援	8
2	地域・まちにつながる支援	11
3	地域・まちに働きかける支援	15
4	その他	16
VI	平成 29 年度利用状況	
1	青少年交流プラザ(本館)	17
2	青少年宿泊センター(分館)	19
VII	参考資料	
1	名古屋市青少年交流プラザ条例	
2	名古屋市青少年交流プラザ条例施行細則	

I 目 的

社会性・主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図ることを目的とする。

II 経 緯

平成 15 年に「次世代育成支援対策法」が制定され、地方公共団体の次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進することとされた。名古屋市においても平成 18 年度から、少年から青年までを次世代育成の対象と位置づけ、次世代育成を総合的かつ機動的に進めるための新局として「子ども青少年局」が新設された。青年の家（北・瑞穂・熱田・中村）及び宿泊青年の家の所管も教育委員会から子ども青少年局へと移された。

また、「名古屋市次世代育成行動計画（なごや 子ども・子育てわくわくプラン）」が策定され、「青少年交流プラザ」の開設もプランに位置付けられた。

こうした中、平成 11 年度に「名古屋市青年の家運営審議会」から答申を受けて以来、進めてきた都市型青年の家の統廃合（北・瑞穂・熱田・中村青年の家の廃館）が平成 18 年度をもって終了し、平成 19 年度に北青年の家の跡地に青少年の自立支援を含めた青少年のための総合的な施設として「青少年交流プラザ」が開設された。

平成 21 年度からは、「宿泊青年の家」を「青少年宿泊センター」に名称変更し、青少年交流プラザの分館と位置付けるとともに、同センターに指定管理者制度を導入した。また、平成 26 年度からは分館を活用した事業も含め本館である「青少年交流プラザ」にも指定管理者制度を導入した。

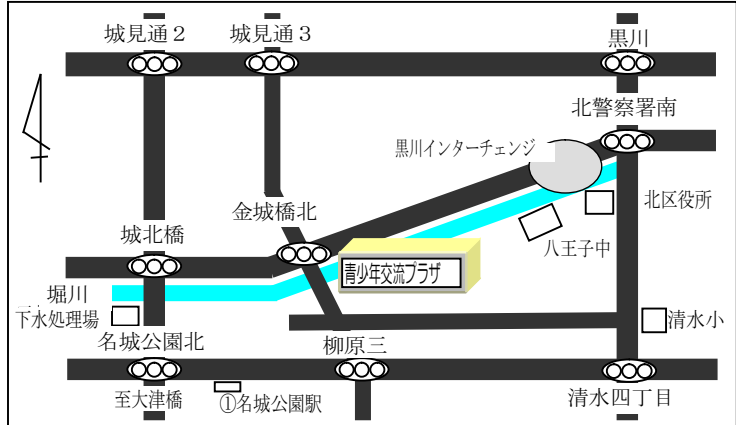
また、青少年交流プラザで実施する事業を総合的かつ効果的に推進するため、平成 28 年度末の本館及び分館の指定管理期間の終了に合わせ、本館と分館の一体的な管理運営を行う指定管理者の公募及び選定を平成 28 年度に実施した。

平成 29 年度からは、施設運営にあたって特に推進していく事項として、（１）青少年の交流の拠点、（２）青少年の情報発信拠点、（３）本館・分館の一体的・総合的な事業の推進、（４）青少年の育成・支援の循環、（５）青少年の力をあらゆる場面で活かした運営、という 5 つの方向性を示し、青少年の居場所として人や情報が多く集まり、青少年が様々な学びや経験を得てあらゆる場面で力を発揮できるよう、本館と分館の一体的・総合的な運営を開始した。

Ⅲ 施設のあらまし

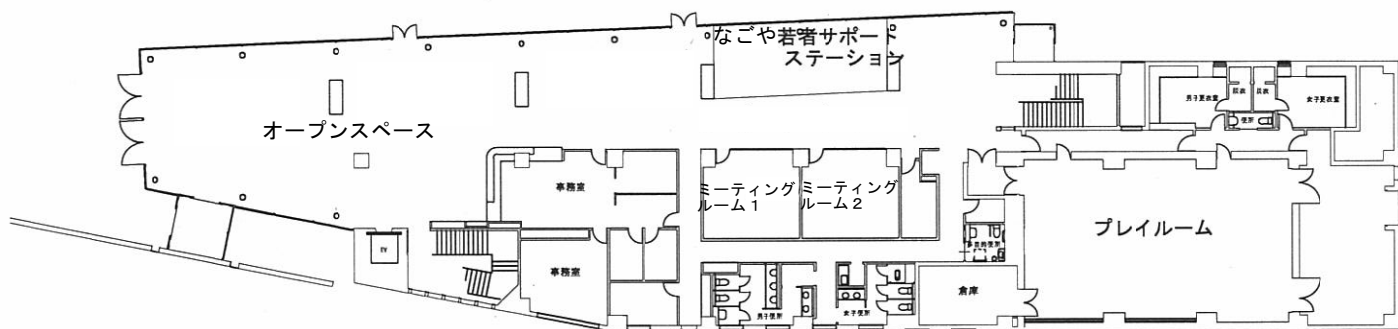
1 青少年交流プラザ（本館）

① 施設概要

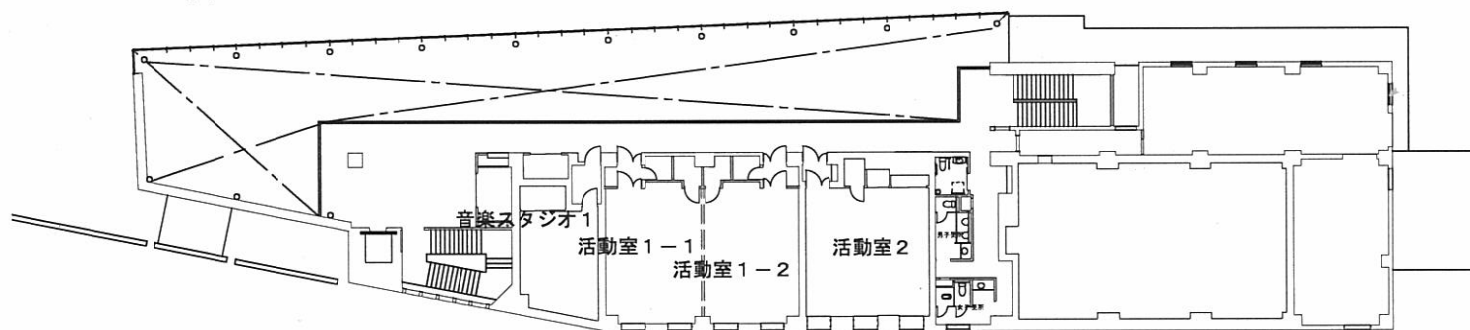
名称	名古屋市青少年交流プラザ（愛称：ユースクエア）					
所在地	〒462-0845 名古屋市北区柳原三丁目6番8号					
電話・FAX番号	（052）991－8440・（052）991－8441					
メールアドレス	yousquare758@zm.commufa.jp					
ホームページ	www.yousquare.city.nagoya.jp/					
開館年月日	平成19年7月7日					
開館時間	9：00～21：30（有料施設の利用は9：30～21：30）					
休館日	毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、その週の最初の平日、小中学校の夏休み期間は臨時開館あり） 12月29日～翌年1月3日					
建物の構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建					
敷地面積	2,912.17㎡					
建物延面積	2,294.97㎡					
総工費	873,434千円					
施設内容 （部屋名・面積・定員）	階	部屋名	面積	定員	その他施設	
	1階	ミーティングルーム1	31.19㎡	16人		
		ミーティングルーム2	31.19㎡	16人		
		プレイルーム	169.81㎡	120人	更衣室・シャワー室	
	2階	音楽スタジオ1	34.78㎡	10人		
		活動室1	区画する場合	48.89㎡	15人	更衣室
			区画しない場合	97.78㎡	30人	更衣室
		活動室2	65.68㎡	20人	更衣室	
	3階	音楽スタジオ2	34.78㎡	10人		
		活動室3	区画する場合	48.89㎡	15人	更衣室
			区画しない場合	97.78㎡	30人	更衣室
		活動室4	65.68㎡	20人	更衣室	
その他の施設	1階 オープンスペース		なごや若者サポートステーション			
	駐車場		31台（身障者用1台含む）			
付属設備	プレイルーム	舞台・照明・音響設備一式、ピアノ、キーボード等				
	音楽スタジオ	ドラムセット、アンプ、キーボード、マイク等				
付近図					最寄り駅 地下鉄「名城公園」下車 ①番出口北東へ 約500メートル	

平 面 図

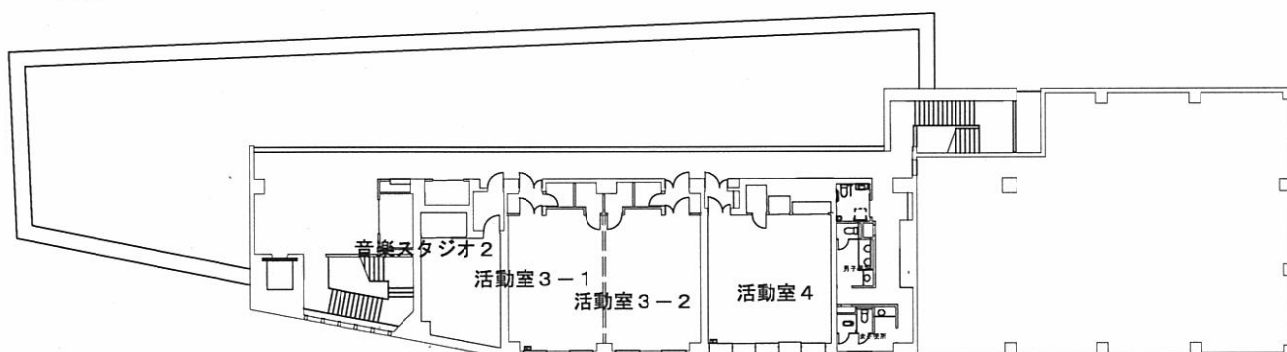
1 階



2 階



3 階



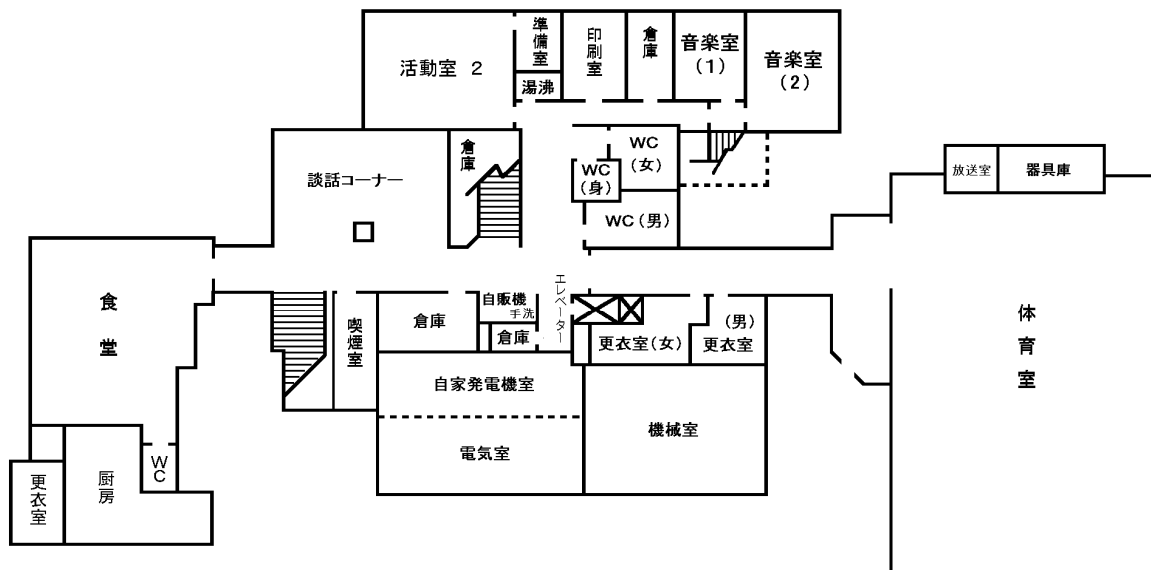
2 青少年宿泊センター（分館）

① 施設概要

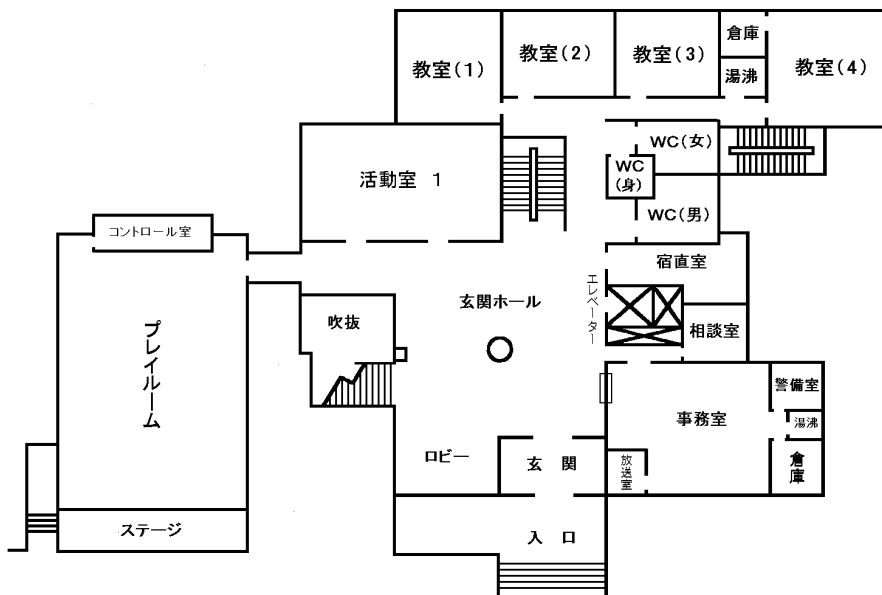
名称	名古屋市青少年宿泊センター									
所在地	〒459-8001 名古屋市緑区大高町字蝸池4番地の6									
電話・FAX番号	(052) 624-4401・(052) 624-4403									
メールアドレス	shukusen@mc.ccnw.ne.jp									
ホームページ	www.yousquare.city.nagoya.jp/shukusen/									
開館年月日	平成21年4月1日(宿泊青年の家としては、昭和58年6月5日)									
開館時間	9:00～21:00 ただし、宿泊室利用は16:30～翌日の9:00									
休館日	月曜日(休日は除く)、休日の翌日(土・日・休日は除く)、 12月29日～翌年1月3日 ※原則として小中学校の夏休み、冬休み(12月29日～翌年1月3日は除く)、春休みは無休で開館									
建物の構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階建									
敷地面積	5,301.23㎡									
建物延面積	3,430.07㎡									
総工費	971,986千円									
施設内容 (部屋名・面積・定員)	階	部屋名	面積	定員	階	部屋名	面積	定員		
	1階	活動室2	70.38㎡	30人	3階	大浴室	51.06㎡			
		音楽室1	26.87㎡	12人		小浴室	29.64㎡			
		音楽室2	38.47㎡	15人		301(洋室)	41.53㎡	6人		
		談話コーナー	72.77㎡			302(洋室)	26.61㎡	6人		
		印刷室	16.82㎡			303(洋室)	26.61㎡	6人		
		更衣室(2室)	44.08㎡			304(和室)	12.5畳	6人		
		体育室	567.25㎡	500人		305(和室)	12.5畳	6人		
		食堂	86.32㎡	60人		306(和室)	42畳	20人		
	2階	教室1	37.73㎡	24人	4階	宿泊室	401(和室)	6畳	3人	
		教室2	26.61㎡	14人		402(〃)	6畳	3人		
		教室3	26.61㎡	14人		403(〃)	12.5畳	6人		
		教室4	52.56㎡	36人		404(〃)	12.5畳	6人		
		活動室1	80.19㎡	30人		405(〃)	12.5畳	6人		
		プレイルーム	187.20㎡	120人		406(〃)	12.5畳	6人		
		相談室	13.14㎡			407(〃)	21畳	10人		
		玄関・ロビー等	337.59㎡			408.9(〃)	42畳	20人		
						410(〃)	21畳	10人		
					—	宿泊室全体定員			120人	
駐車場				30台 (身障者用1台含む)						
付属設備	音楽室2	グランドピアノ								
	プレイルーム	アップライトピアノ								
付近図	 最寄り駅 JR「南大高」下車 東口より北東へ 約800メートル									

名古屋市青少年宿泊センター平面図

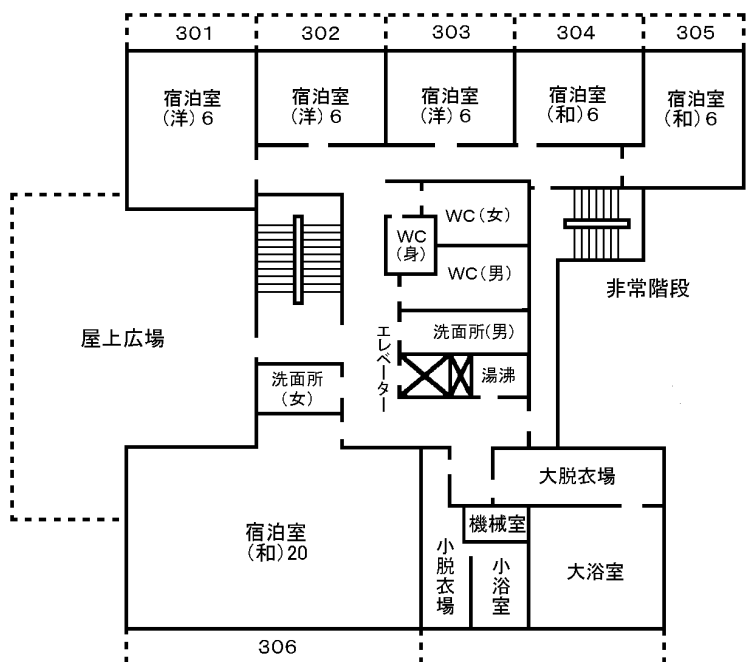
1 F



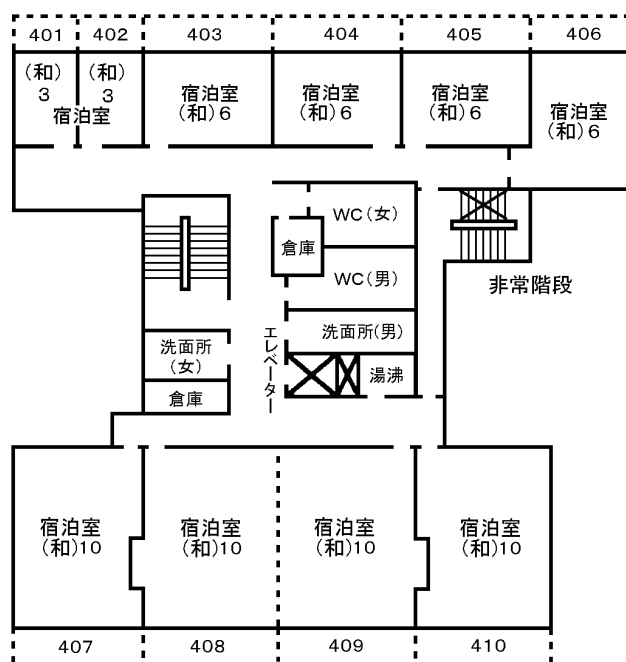
2 F



3 F



4 F



IV 平成29年度事業基本方針

1 目標

社会性・主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図るため、社会参加、世代間交流等の多様な体験・交流を取り入れた事業を行うことを通して、地域やまちで活躍する青少年の育成を目指した事業を展開する。

2 事業推進の具体的な方向性

一層目の「人につながる支援」、二層目の「地域・まちにつながる支援」、三層目の「地域・まちに働きかける支援」、という三層にわたる支援を具体的に展開し、青少年が社会的に自立するために発達段階に応じた切れ目のない連続的、重層的な支援を進める。

(1) 一層目：人につながる支援

青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、活動できるよう支援する。

① 青少年の居場所づくり

青少年が気軽に立ち寄り安全に安心して過ごすことができるよう、居場所としての環境整備や児童館における「中高生居場所づくり事業」等との連携を図る。

また、一定期間オープンスペースの管理を青少年に委託し、青少年による居場所づくりを行うことで、自主性や社会性等を育むとともに魅力的な施設づくりを目指す。

② 人につながるワークショップ

個々の青少年が自己を認め大切にし、他者とのかかわりの中で自信を持って生きていくことができるよう支援する。

青少年が自己や他者を理解したり、コミュニケーション力をつけたりして、人とつながる素地を作るための支援をする。

③ 若年者自立支援事業

若者が就労に必要な能力を身につけることを支援する。

青少年が他者と関わりながら様々な体験や活動をすることで、自立することを支援する。

(2) 二層目：地域・まちにつながる支援

青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加することを支援する。

① 青少年育成サポーターの養成

プラザが実施する事業に関わる中で、地域やまちにつながり、地域やまちの取り組みに貢献する青少年育成サポーターを養成する。

② プラザ事業への参加・参画事業

青少年の社会参加体験活動や青少年相互の交流、青少年と他の世代との交流などのプラザ事業を、青少年が主体的に企画運営することを通して、地域やまちとつながりながら参加・参画できる機会を提供する。

③ 地域活動への参加・参画事業

青少年の力や活動を生かして、地域や商店街等の事業や取り組みに関わり、参加・参画することで、他世代との交流を図り、地域活動やまちづくりに貢献することを支援する。

(3) 三層目：地域・まちに働きかける支援

青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりすることを支援する。

① 課題発見・参画ワークショップ

青少年が地域やまちの一員として、よりよい社会形成に向けた課題解決や提案をするなど主体的な参画を促す。

② 青少年の自主活動推進事業

青少年の自主的な活動を支援するとともに、地域活動やまちづくりに貢献することを支援する。

(4) その他

① 広報・情報事業

青少年交流プラザの情報や青少年の活動の様子を発信する。

青少年に関する情報を収集・提供し相談に応じる。

プラザの事業を展開する上で必要となる青少年の課題やニーズ等を把握する。

② 各種団体・施設等との連携

青少年への三層支援において、児童館を始めとした各種施設や団体等と連携・協働する。

青少年育成に関する研修会を企画、実施する。

V 平成29年度事業報告

I 人につながる支援【一層目】

1 青少年の居場所づくり

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
居場所としての環境整備		サッカーゲームを始めとしたゲーム類の設置			(2,166)		(2,166)
YYP48(ユースカフェやろまいプロジェクトチーム)	4月1日(土) ～3月28日(水) (原則第1・3土曜及び第2・4水曜)	青少年の居場所としてユースカフェ運営キャストに加わるための準備。職業観・勤労観を涵養する。	46	29	54		83
YYP48出張事業(千種生涯学習センターまつり)	10月28日(土) 10月29日(日)	千種生涯学習センターまつりへブースを出展(カフェ号)	2		2		2
みどりっ子体験フェスタ YYP48	6月11日(日)	青少年の居場所としてユースカフェ運営キャストに加わるための準備。職業観・勤労観を涵養する。	1		2		2
ユースマイスター認定制度	4月11日(火) ～3月27日(火) (原則第2・4火曜) 4月25日(火)	学びを通し、上達することの楽しさ、奥深さを体感する。また、集まったメンバーとの交流で他者理解涵養の機会とする。	21	27	197		224
ぼくらのサードプレイス	5月28日(日) ～2月25日(日)	コミュニケーションに不安があったり、仲間作りがなかなかできない人たちが定期的に集う場を設ける。	9	18	45	21	84
なんでもTRY at ユースクエア	6月27日(火) ～3月18日(日)	自分のやりたい活動が実現することで、ユースクエアを自分の居場所であると認識してもらう。	10	9	34		43
たのしみたい人集まれ	1月18日(木) 2月1日(木) 2月15日(木) 3月1日(木) 3月15日(木)	参加者同士が運動やトークで交流を図りながら、仲間を作り気軽に立ち寄り安全安心して過ごせるような、環境整備等を行う。	5	2	20		22
計			94	85	354	21	460

2 人につながるワークショップ

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
もっとイキイキ、話し合い！ファシリテーター入門講座	5月21日(日) 6月4日(日) 6月18日(日) 7月2日(日)	知的創造活動。話し合いの場におけるファシリテーションの諸要素に関わるテーマを体験的に学ぶ中で、参加者が相互に関わる場をつくる。	4		75	2	77
コミュニケーションWS 中川児童館	11月19日(日) 1月14日(日) 3月18日(日)	中高生に職業だけではない、自分の将来像について考える機会を持ってもらう。	3	2	18		20
も・え・る夏！若者のコミュカUP新宿	8月5日(土) 8月6日(日)	いわゆる異性を含めた他者とのコミュニケーションに苦手意識をもつ青少年にメイク、ファッションを磨くワークショップとコミュニケーショントレーニングを提供する。	1		12		12
計			8	2	105	2	109

3 若年者自立支援事業

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースク メンテナンス隊	4月1日(金) ～3月31日(土) (各月1クール)	若者が実際に館内の清掃業務を行うことで、社会人としてのマナーをはじめ、業務遂行に必要な能力を養う場とする。	11		251		251
就活CLUB G- MEN Goodな就活を支援 するMentor	4月6日(木) ～3月29日(木) (原則毎週木曜 各月4回を1クール)	学生の就職活動支援と社会人となった後もプラザ事業への参加・参画する若い世代を確保する。	26	19	99		118
ユースクエア・ 彩り隊	4月5日(水) ～3月7日(水) (原則第1・3水曜)	緑化を通して、施設・地域に貢献するボランティアへの参加を促す。	20		85		85
ホンキの就職	6月13日(火) ～3月27日(火)	就労に不安・困難をかかえる若年者に就活ノウハウとモチベーションを付与する。	16		85		85
お泊りでサバイバル&ディノ体験	6月9日(金) ～6月10日(土) 9月8日(金) ～9月9日(土)	キャンプを通じた生活体験をすることで、将来の自立に必要なスキルを育む。同時に災害時の高齢者への配慮など役割についても気づきを促す。	2		32		32
ライフ・イベント・コストゲームワーク シヨップ	<中央高校> 9月7日(木) 9月14日(木) <旭丘高校> 10月12日(木)	高校生に将来の働き方による収入格差や社会保険制度等の理解を促し、青少年の仕事理解、キャリア・パースペクティブの涵養を支援する。	3		53		53
お泊り修行 母の 日対策！マジパン ギフトづくりに挑 戦！	5月12日(金) ～5月13日(土)	プロの洋菓子職人に触れることで、小中学生に対して職業人としての仕事理解を支援する。	1	3	21		24
キャンプマスター養 成講座	6月17日(土) ～6月18日(日)	中津川野外活動を翌年に控えた小学校4・5年生対象の生活体験、自然体験、野外炊飯活動体験事業	1	6	14		20
Re. 就活起動合宿	6月24日(土) ～6月25日(日)	就労したいが、行動できていない若年者を対象に就労に必要な知識・スキルを学ぶ。集団生活でのコミュニケーション能力や協調性などを身につける。	1		11		11
インターンシップ事 前研修	7月20日(木)	高校生に対するインターシップ研修講師をすることで、ユースクエアの周知を図り、青少年の勤労観・職業観を涵養する。	1		3	3	6
もしもの時こそ助け 合い	7月15日(土) ～7月16日(日)	災害状況下を想定した環境で、宿泊をとおした生活・自然体験、野外炊飯活動を体験することで、もしもの時にも慌てずに周囲と助け合える自立心を育てる。	1	1	17		18
自由研究お泊り会	8月21日(月) ～8月22日(火)	家庭を離れ、同じ体験をすることによって青少年の交流を図り、自主性、協調性、社会性の向上を狙う。	1	7	27		34

U15 しごと体験メッセ	8月1日(火)	職業興味診断や生活力診断のあと、さまざまな体験をするワークショップを実施	1	2	141		143
冒険キャンプ2017 ～秋の陣～	10月8日(日) ～10月9日(月)	宿泊を通じた自然・生活・野外体験を通して、子どもたちが本来持っている自主性や感受性、生きる力を育む。	1	3	15		18
親子でやきいもをしよう 宿泊センター	11月26日(日)	小学生児童とその保護者が安全で快適な環境の中、分館の野外施設でやきいも作りを体験する。	1	4	6	9	19
Genesis!就活スタートダッシュ合宿	12月2日(土) ～12月3日(日)	来春就活を開始する学生を中心に必要な知識・スキルを学ぶ合宿を行うことで、就職活動に自信を持って取り組める意識づくりを狙う。	1		7		7
冬のお泊り会！オリジナルリースを作ろう！	12月8日(金) ～12月9日(土)	大高緑地を探索し、自然の素材を拾い集め、イメージーションを高めてオリジナルリースを作る。同時に環境保全意識を高める。	1	1	17		18
仕事×(出会い)×若者＝天職発見フェア	12月16日(土)	就職未内定者や自身のキャリアを考えたい青少年を対象に企業人との交流の機会を提供する。自らの「仕事」を考えるヒントとしてもらい、採用に積極的な企業には採用の場として活用してもらう。	1		90		90
お正月！泊まりぞめ！餅つき合宿だ！	1月4日(木) ～1月5日(金)	日本の伝統行事である餅つきを体験する。合宿形式で行い、他者と生活を共にすることで、社会生活に必要な協調性を学ぶ。	1	1	13		14
お泊り修行 バレンタインデー対策！カリスマパティシエ(パティシエール)に挑戦！！	2月9日(金) ～2月10日(土)	宿泊しながらお菓子作りに挑戦する。菓子職人が作り方を伝授。	1	5	17		22
計			92	52	1,004	12	1,068

Ⅱ 地域・まちにつながる支援

1 青少年育成サポーターの養成

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースクエア支援 AIロボット「Pepper 向け 制御プログラ ミング講座」～ 教 育指導係養成 for Pepper ～	5月25日(水) ～12月7日(木)	ボランティア及びプログラミングに興味を持つ青少年がPepperの制御プログラミングの基礎を学び、目標としてはユースクエアの講座・イベント等をPepperのタブレットで利用者にPRできるようにする。	8		37		37
マイWEBサイト基礎 講座 ～ホーム ページを作ろう～	8月3日(木) ～3月22日(木)	現代生活に欠かせないインターネットの仕組みとその元となるHTML・CSSファイルの作成を学ぶことにより、青少年自主活動の広報の幅を広げる支援を行う。	8		31		31
プレイワーク入門	9月5日(火)	子どもにとって欠かせない活動である遊びについて学び、考え、話し合ってもらうことを通して、子どもを理解、支援できるユースボランティアの育成を図る。	1		16		16
ユースワーカー養成講座	11月18日(土) ～11月19日(日)	青少年育成サポーターの育成を目的として、ユースワーカーの基礎知識や役割、会議の進め方など、青少年に関わるための必要な知識を学ぶ。	1		12		12
計			18	0	96	0	96

2 プラザ事業への参加・参画

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースクエア 企画委員会	4月12日(水) ～3月28日(水) (原則第2・4水曜)	・夏祭り準備及び今後のプラ ザ事業の検討 ・夏祭り企画づくり ・区民まつり準備及び当日の シュミレーション ・まるごとフェスティバル準備 及び今後のプラザ事業の検 討	24	378			378
U20イベント PRODUCE	10月15日(日) 11月15日(水) 12月20日(水) 1月17日(水) 2月21日(水) 3月21日(水)	小学生～高校生世代に対応 するイベントを企画する。桜ま つりの実施日、イベント内容 について話し合い。	6	25	3		28
ユースクエア まるはち夏まつり	8月1日(火)	企画委員会と団体が子ども達 の楽しめるような体験ブース を設定し運営	1	48	128	361	537
ユースクエアまるご とフェスティバル	3月4日(日) 3月11日(日)		2	60	150	731	941
Danbee at ユースクエア	6月4日(日) 6月11日(日)	青少年の設計・施工により、 オープンスペースに多用途空 間を創造する。交流を深めな がら、自らの居心地のいい居 場所をつくる。	2	20	18		38
ぼらマッチなごや	6月24日(土)	ユースクエア企画委員会紹介 ブースの出展	1		2	20	22
北区区民まつり	10月15日(日)	区民まつり会場の一つとし て、「夢のレゴブロックランド」 や「10,000個のドミノ倒し」を開 催。また、北区役所、八王子 中学校へもブースを出展。	1	18	229	320	567
計			37	549	530	1,432	2,511

3 地域活動への参加・参画

派遣事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
K-MAT(北区まっ と盛り上げ隊)	4月19日(水) ～8月16日(水)	北区役所と連携し、青少年の 力で北区の魅力を創造し、広 く市民に発信する。青少年の 課題達成スキル・協調性など のキャリア発達を促す。青少 年のアイデアで北区の魅力プ ロデュースする。	10	76		38	114
ご当地キャラでゴー ゴゴー！～part1	6月13日(火) 6月27日(火) 7月11日(土)	大曽根地区のマスコットキャ ラクター「おおぞねこ」を活用 した企画を立案、運営するこ とを通して、地域・まちにつな がる。	3	25		8	33
働く者の祭典(メー デー)	4月22日(土)	音の出るパフォーマンスがで きる団体の出演依頼	1	7			7
農業センター「ゴー ルデンウィークフェ ア」	5月3日(水) 5月4日(木) 5月5日(金) 5月6日(土) 5月7日(日)	イベントスタッフ派遣	5	10			10
大曽根街道フェスタ	5月13日(土)	大曽根商店街イベントへの青 少年団体派遣	1	52			52
さくらん大府2周年 祭	7月16日(日)	老人ホームの周年イベントに ボランティア慰問として参加。	1	4		50	54
バスハイク～明治 工場見学と七宝焼 き体験～	7月28日(金)	白金児童館主催の小学生対 象バスツアーの引率、七宝焼 き体験の補助を行う。	1	1			1
青少年育成市民大 会	7月27日(木)	さわって！遊んで！学ぼう！ なごや子ども・若者わくわく フェスタ！のブース運営の補 助及びイベント会場撤去	1	1			1
大曽根七夕まつり	7月28日(金) ～7月30日(日)	登録団体のステージ出演とP A操作、着ぐるみ体験等のボ ランティア参加。	1	80			80
柳原商店街夏まつ り	8月1日(火) 8月2日(水)	柳原通商店街主催の夏祭り にて、ステージ出演及び運営 の補助	2	4			4
黒川ホラーナイト	8月19日(土)	K-matの活動として、北区 の魅力を創造し、広く市民に 発信することで北区の活性化 に貢献する。活動プロセスを 通じ、青少年の課題達成スキ ル・協調性などのキャリア発 達を促す。	1	12	4	151	167
名古屋市西文化セ ンター児童福祉事 業「夏休み子どもま つり」	8月9日(水)	名古屋市西文化センターのイ ベントへ青少年団体を派遣	1	4		97	101
下水道科学館まつ り	9月9日(土) ～9月10日(日)	子ども向けの水の実験や水を使 った体験ブースなどの企 画・運営に青少年団体が参 加。	2	10			10
第40回緑生涯学習 センターまつり	9月30日(土) ～10月1日(日)	・カフェ号内でチュロスの調 理・販売を行う。 ・活動グループの学習成果還 元にボランティア参加	2	2			2

西古渡神社 前夜祭イベント	10月8日(日)	八幡南公園にて、大祭前夜祭に琉球國祭り太鼓(団体)を派遣	1	6		100	106
秋季祭礼	10月8日(日)	子ども会からの依頼に中部大学子育てすくすく隊(団体)を派遣	1	4		20	24
北区区民まつり同時開催イベント	10月15日(日)	名城公園フラワープラザで花の販売、ハーブティー提供のボランティア参加	1	9		15	24
HAPPYタウン オアシス21	11月3日(金)	市民経済局主催の教育イベントにおいて、幼児から小学生が行う体験のサポートや、会場での見守りを行う。	1	1			1
なごや☆子どもCity2017	11月3日(金) ～11月5日(日)	市民経済局主催の教育イベントにおいて、幼児から小学生が行う体験のサポートや、会場での見守りを行う。	3	21			21
名古屋市農業センターまつり	11月5日(日)	農業まつりのイベントスタッフを派遣。	1	1			1
大曽根秋の街道 フェスタ	11月11日(土)	おまつり当日のボランティア派遣。	1	4			4
バスハイク～生命の海科学館とみかん狩りに行こう！～	11月26日(日)	白金児童館バスハイクの子ども引率等にボランティア派遣。	1	1			1
清水学区子ども会クリスマス会	12月3日(日)	クリスマス会の余興として、中部大学すくすく育て隊を派遣。	1	16		139	155
児童とのふれあい活動	12月16日(土)	清水小学校トワイライトにkodonaを派遣。クリスマスベルの作り方を教えるなど児童とふれあいの場を持つ。	1	3		14	17
名古屋市西文化センター児童福祉事業「子どもまつり」	1月27日(土)	センター冬の子どもまつりにボランティアを派遣。地域の幼児・小学生と工作教室やゲームを実施。	1	4		97	101
ふれあい活動	2月17日(土)	清水小学校トワイライトにkodonaを派遣。クリスマスベルの作り方を教えるなど児童とふれあいの場を持つ。	1	6		10	16
ジネンカフェ	2月18日(日)	総合社会福祉会館	1	1		27	28
じどうかんまつり	3月18日(日)	白金児童館まつりにボランティア派遣。	1	4		270	274
丸屋南北子ども会合同歓送迎会	3月24日(土)	昭和生涯学習センターにて丸屋南北子ども会の合同歓送迎会を運営するボランティアの派遣	1	4		32	36
計			49	373	4	1,068	1,445

Ⅲ 地域・まちに働きかける支援

1 課題・発見参画ワークショップ

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
社会的企業家の研究＆社会貢献する社長になるワークショップ～アントレプレナー養成講座～	9月30日(土) 10月7日(土) 10月14日(土) 10月21日(土)	参加者が世界から地域の課題を発見するグループワークと起業に必要な基礎知識の理解、課題解決スキルを涵養するための経験を積む。併せてグループでの協働作業を通じてコミュニケーションスキルを育む。	4		24		24
未来デザイン・ファシリテーター実践講座	11月11日(土) 11月26日(日) 12月3日(日) 12月10日(日)	イノベーション促進のためのファシリテーターの技術を、各1テーマで体験的に学ぶ。	4		108	4	112
World OKASHI Festa	8月5日(土)	各国の代表的なお菓子を作り試食することで、楽しく他国の文化に触れる。国際理解のきっかけとなることを目指す。	1	8	17		25
計			9	8	149	4	161

2 青少年の自主活動推進事業

事業名	実施日	概要	回数	企画・運営 青少年	参加・活動 青少年	一般 参加者	参加者 合計
ユースフェスティバル 2018	9月10日(日) ～3月25日(日)	ユースフェスティバルに向けての準備・打ち合わせ等	13	114	316	315	745
kakko	11月3日(金) ～3月30日(金) (原則毎週金曜)	キッチンカーでコッペパンサンドを販売する。	20	20		369	389
まなびとカレッジ	11月11日(土) ～3月18日(日)	参加者で授業作りを体験する。	8	44	31	3	78
ダブルダッチチャレンジ	11月23日(木)	名古屋市、又はその近郊で活動する子どもたちの交流会とダブルダッチの普及活動。	1	10		62	72
クリスマスパーティー2017	12月17日(日)	yorozuya、ギターマイスター有志が中心となり、「クリスマスパーティー」を企画し、青少年団体に参加を呼びかけるなど青少年との交流を図る。	1	28	15		43
計			43	216	362	749	1,327

IV その他

1 各種団体・施設等との連携

4月20日(木) 4月区政推進会議(例会)
 5月16日(火) ぼらマッチ！なごや協働会議
 5月18日(木) 5月区政推進会議(幹事会)
 6月15日(木) 6月区政推進会議(幹事会)
 6月14日(木) 北区区民まつり同時開催者連絡会
 6月20日(火) 第1回子育て支援ネットワーク連絡会
 6月24日(日) ぼらマッチ！なごや協働会議
 7月26日(日) 第1回北区子育て支援ルーム運営協議会
 9月21日(木) 9月区政推進会議(幹事会)
 10月19日(木) 10月区政推進会議(例会)
 11月16日(木) 11月区政推進会議(幹事会)
 12月21日(木) 12月区政推進会議(例会)

2 広報・情報事業

4月

施設・事業案内パンフレットの発行	約	15,000部
企画委員会メンバー募集チラシの発行	約	5,000部
(市立高校、大学、専門学校、各公所に配架・配布依頼)		
マジパンギつづくりに挑戦！チラシ配布(緑区内小・中学校全校)	約	6,000部
ぼくらのサードプレイス第1期(市内公所116ヶ所)	約	1,300部
ファシリテーター入門講座(市内公所116ヶ所)	約	1,300部

5月

Danbee at ユースクエア チラシ配布	約	1,900部
ご当地キャラでゴーゴゴー！ チラシ配布(市内公所116ヶ所)	約	1,300部

6月

も・え・る夏！若者のコミュカUP合宿 チラシ配布(市内公所116ヶ所等)	約	2,000部
プレイワーク入門 チラシ配布(市内公所116ヶ所等)	約	1,300部

7月

ユースクエアまるはち夏まつりチラシ配布(市内公所116ヶ所、近隣小学校等)	約	2,000部
夏休み自由研究 コンプリートお泊り会(緑区内小・中学校全校)	約	6,000部

8月

ぼくらのサードプレイス第2期(市内公所116ヶ所)	約	1,300部
---------------------------	---	--------

9月

社会的起業家の研究&アントレプレナー養成講座チラシ配布(市内公所116ヶ所、大学等)	約	2,500部
つなげてたおしてドミノチラシ配布(市内公所116ヶ所、近隣小学校等)	約	8,500部

10月

施設・事業案内パンフレットの発行(後期分)	約	15,000部
ぼくらのサードプレイス第1期(市内公所116ヶ所)	約	1,300部
ファシリテーター実践講座(市内公所116ヶ所)	約	1,300部

11月

冬のお泊り会！オリジナルリースを作ろう！チラシ配布(緑区小・中学校等)	約	5,000部
天職発見フェアチラシ配布(市内公所116ヶ所、なごサポ等)	約	7,000部

12月

お正月！泊まりぞめ！餅つき合宿だ！チラシ配布(緑区内小・中学校全校)	約	6,000部
就活CLUB G-MENチラシ配布(市内公所116ヶ所等)	約	2,000部
楽しみたい人！集まれ♪！チラシ配布(市内公所116ヶ所)	約	1,300部

VI 平成29年度利用状況

1 青少年交流プラザ（本館）

(1) 開所日数 3 1 8 日

(2) 部屋利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
青少年	8,150	76.2%	65,626	77.8%	70.9%
一般	1,629	15.2%	9,679	11.5%	
主催事業等	914	8.5%	9,066	10.7%	
合計	10,693	100.0%	84,371	100.0%	

(3) オープンスペース利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
利用者	—	—	59,312	—	—

(4) 時間帯別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
午前	2,168	20.3%	16,474	19.5%	62.8%
午後	2,753	25.7%	22,001	26.1%	67.4%
夕方	2,802	26.2%	23,364	27.7%	68.6%
夜間	2,970	27.8%	22,532	26.7%	86.0%
合計	10,693	100.0%	84,371	100.0%	70.9%

(5) 曜日別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
平日	5,895	55.1%	40,875	48.4%	64.0%
土曜日	1,949	18.2%	17,736	21.0%	84.6%
日曜日	2,025	18.9%	19,362	22.9%	86.1%
祝日	544	5.1%	4,384	5.2%	75.6%
臨時開場	280	2.6%	2,014	2.4%	58.3%
合計	10,693	100.0%	84,371	100.0%	70.9%

(6) 部屋別利用状況

区分	件数	割合	人数	割合	利用率
活動室1・3	3,857	36.1%	24,393	28.9%	76.8%
活動室2・4	1,769	16.5%	13,747	16.3%	70.4%
ミーティングルーム1・2	1,601	15.0%	10,607	12.6%	63.7%
プレイルーム	943	8.8%	25,810	30.6%	75.1%
音楽スタジオ1・2	2,523	23.6%	9,814	11.6%	67.0%
合計	10,693	100.0%	84,371	100.0%	70.9%

(7) 青少年団体登録状況

(単位：団体)

種類		青年団体	少年団体	青少年団体	合計
音楽	バンド	36	0	2	38
	吹奏楽	9	0	5	14
	合唱	4	0	1	5
	管弦楽	1	0	1	2
	太鼓	13	0	9	22
	ギター	0	0	0	0
	その他	16	2	0	18
ダンス		85	10	23	118
バトン		0	0	0	0
演劇		97	0	9	106
国際交流		1	0	1	2
手話		0	0	0	0
話し方		0	0	0	0
キャンプカウンセラー		2	0	0	2
ヨガ		0	0	0	0
福祉		0	0	1	1
その他		20	3	6	29
合計		284	15	58	357

(8) 青少年育成サポーター登録状況

	人数
登録人数	220

(9) 月別利用状況

① 部屋利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		26	26	26	29	30	27	27	26	24	25	25	27	318
青少年	件	637	629	602	762	830	683	678	649	540	685	704	751	8,150
	人	4,744	5,652	4,326	5,448	6,855	5,759	4,963	5,955	4,178	5,991	5,641	6,114	65,626
一般	件	128	141	168	144	152	143	153	141	108	123	119	109	1,629
	人	769	997	1,184	920	784	787	864	835	618	716	631	574	9,679
主催事業等	件	48	68	90	72	62	72	73	67	97	94	94	77	914
	人	396	928	705	500	594	813	898	593	967	650	899	1,123	9,066
合計	件	813	838	860	978	1,044	898	904	857	745	902	917	937	10,693
	人	5,909	7,577	6,215	6,868	8,233	7,359	6,725	7,383	5,763	7,357	7,171	7,811	84,371
利用率	%	65.1%	67.1%	68.9%	70.3%	75.0%	69.3%	69.8%	68.7%	67.5%	75.2%	76.4%	78.1%	70.9%

② オープンスペース利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	人	3,208	4,941	4,564	5,052	5,677	4,178	5,970	5,672	4,684	5,222	5,821	4,323	59,312

2 青少年宿泊センター（分館）

（１） 宿泊使用

① 利用率等

開館日数(日)	宿泊日数(日)	宿泊室数(室)	宿泊率(%)	利用率(%)
314	205	1,763	65.3%	37.4%

* 宿泊率=宿泊日数／開館日数 (%)

* 利用率=宿泊室数／開館日数×15室 (%)

② 宿泊団体数

1泊	2泊	3泊	4泊以上	合計	延べ数(件数)
322	61	10	0	393	474

③ 世代別宿泊人数

区 分		宿泊人数		比率(%)
青少年	就学前	494	8,871	83.2%
	小学生	2,873		
	中学生	1,349		
	高校生	1,062		
	～29歳	3,093		
一 般		1,791		16.8%
合 計		10,662		100%

（２） 宿泊団体種別状況

区 分	件数	宿泊人数
保育園等	15	536
少年団体	183	4,720
青年団体	70	1,440
中学・高校等	66	1,672
短大・大学等	52	1,231
一般・事業所	41	757
家族・その他	34	306
合 計	461	10,662

（３） 宿泊団体目的別状況

区 分	件数	宿泊人数
スポーツ	138	3,470
音楽・合唱	43	1,013
演劇・ダンス	38	1,062
学習・研修	136	2,938
保育・子育て	17	479
学童・子ども会等	25	545
親睦・その他	64	1,155
合 計	461	10,662

(4) 研修室使用

区 分		件数	利用人数	比率(%)	
宿泊使用	青少年団体	1,779	45,197	58.7%	62.2%
	一般団体	176	2,635	3.4%	
	小計	1,955	47,832		
日帰り使用	青少年団体	1,002	13,636	17.7%	37.8%
	一般団体	1,165	15,489	20.1%	
	小計	2,167	29,125		
合 計	青少年団体	2,781	58,833	76.4%	100%
	一般団体	1,341	18,124	23.6%	
	合計	4,122	76,957		

(5) 研修室別利用内容

区 分	件数	利用人数			利用率(%)
		青少年団体	一般団体	合計	
教室1	297	3,439	1,931	5,370	31.5%
教室2	377	2,773	1,368	4,141	40.0%
教室3	282	2,404	876	3,280	29.9%
教室4	290	5,092	1,279	6,371	30.8%
プレイルーム	567	12,825	3,958	16,783	60.2%
活動室1	546	5,809	2,802	8,611	58.0%
活動室2	305	3,961	848	4,809	32.4%
音楽室1	262	1,379	381	1,760	27.8%
音楽室2	269	2,432	398	2,830	28.6%
体育室	791	15,832	3,895	19,727	84.0%
和室	12	159	86	245	
野外炊飯施設	124	2,728	302	3,030	
合計	4,122	58,833	18,124	76,957	42.3%

*利用率=件数／開所日数×3(午前・午後・夜間) (%) …和室・野外施設利用を除く

(6) 研修室利用時間区分別

区 分	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
青少年団体	855	19,636	907	19,794	1,019	19,403	2,781	58,833
一般団体	524	7,473	476	5,921	341	4,730	1,341	18,124
合計	1,379	27,109	1,383	25,715	1,360	24,133	4,122	76,957

○名古屋市青少年交流プラザ条例

平成18年12月27日

条例第80号

改正 平成20年条例第42号

平成21年条例第66号

平成25年条例第25号

(設置)

第1条 社会性及び主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を図るため、次のように青少年交流プラザを設置する。

名称 名古屋市青少年交流プラザ

位置 名古屋市北区柳原三丁目6番8号

2 名古屋市青少年交流プラザに、次のように分館を置く。

名称 名古屋市青少年宿泊センター

位置 名古屋市緑区大高町字蝮池4番地の6

(事業)

第2条 名古屋市青少年交流プラザ（以下「プラザ」という。）は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 青少年の社会参加体験活動その他の体験活動の促進
- (2) 青少年の社会参加活動の促進のための青少年ボランティアの養成及びそのボランティア活動の支援
- (3) 青少年相互の交流及び青少年と他の世代との交流の促進
- (4) 青少年の自立支援に関する事業
- (5) 青少年に関する情報の収集及び提供並びに相談
- (6) 青少年に関する各種の団体、施設等との連携
- (7) 青少年に関する調査研究
- (8) プラザの施設の供用
- (9) その他市長が必要と認める事業

(使用の許可)

第3条 プラザの別表第1に掲げる施設（以下「プラザの施設」という。）を使用しようとする者は、規則で定めるところにより、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗をみだすおそれがあるとき。
- (2) 管理上の支障があるとき。

3 市長は、第1項の許可に際して、プラザの管理上必要な条件を付けることができる。

(使用料)

第4条 プラザの施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、別表第1に定める額の使用料を納付しなければならない。

2 使用者は、使用料を前納しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

3 プラザの駐車場を使用しようとする者は、別表第2に定める額の使用料を納付しなければならない。
(使用料の減免)

第5条 市長は、特別の事由があると認めたときは、使用料を減免することができる。

(使用料の不還付)

第6条 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(使用の許可の取消し等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用の許可の条件を変更し、若しくは使用を停止し、又は使用の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 許可された使用目的に違反したとき。
- (3) 使用の許可の条件に違反したとき。
- (4) 公の秩序又は善良な風俗をみだしたとき、又はみだすおそれがあるとき。
- (5) 工事その他のプラザの管理上やむを得ない事由が生じたとき。

(特別の設備の設置)

第8条 使用者は、プラザの施設の使用に当たって特別の設備を設け、又は原状の変更をしようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第9条 特別の設備を設け、若しくは原状の変更をした使用者が使用を終わったとき、又は使用の停止若しくは使用の許可の取消しがなされたときは、直ちに特別の設備を撤去し、かつ、プラザの施設を原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第10条 建物、設備その他器具を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従い、これらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(指定管理者)

第11条 プラザの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者に行わせる。

(指定管理者の指定の手続)

第12条 市長は、プラザの指定管理者の指定をしようとするときは、規則で定めるところにより、選定

に参加する者に必要な資格、管理の基準その他の選定について必要な事項を明示し、公募するものとする。

2 プラザの指定管理者の指定を受けようとする者は、規則で定めるところにより、事業計画書その他必要な書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、次に定める基準に従い、指定管理者を選定するものとする。

(1) 市民の平等利用が確保されること。

(2) 事業計画書の内容が、プラザの設置目的を最も効果的に達成するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。

(3) 指定管理者の指定を受けようとする者が、事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有していること。

4 市長は、指定管理者を指定したとき及びその指定を取り消したときは、その旨を告示するものとする。

(指定管理者が行う管理の基準)

第13条 指定管理者は、プラザの開館時間及び休館日の定めに従い、当該施設を適正に市民の利用に供しなければならない。

2 前項のプラザの開館時間及び休館日は、規則で定める。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、市長との協議により、開館時間以外の時間及び休館日に開館することができる。

4 指定管理者の管理の業務を行うに当たっては、名古屋市個人情報保護条例（平成17年名古屋市条例第26号）の定めるところにより、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第14条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 第2条に規定する事業（分館の指定管理者にあつては、同条第8号に規定するものに限る。）の実施に関すること。

(2) プラザの施設の使用の許可に関すること。

(3) プラザの施設の使用料の徴収に関すること。

(4) プラザの維持管理及び修繕（原形を変ずる修繕及び模様替を除く。）に関すること。

(5) その他市長が定める業務

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成19年規則第84号で平成19年7月7日から施行。ただし、附則第2項の規定の施行期日は、平成19年6月1日から施行)

- 2 この条例の規定に基づく許可の申請その他プラザの施設を使用するために必要な手続は、この条例の施行前においても行うことができる。

附 則（平成20年条例第42号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の名古屋市青少年交流プラザ条例（以下「新条例」という。）第12条の規定による指定管理者の指定の手続その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

（名古屋市青年の家条例の廃止）

- 3 名古屋市青年の家条例（昭和45年名古屋市条例第32号）は、廃止する。

（名古屋市青年の家条例の廃止に伴う経過措置）

- 4 この条例の施行の際現に前項の規定による廃止前の名古屋市青年の家条例第3条第1項の規定により青年の家の施設の使用の許可を受けている者又は青年の家の施設の使用の許可を申請し、受理されている者は、新条例第3条第1項の規定によるプラザの施設の使用の許可を受けた者又はプラザの施設の使用の許可を申請し、受理された者とみなす。

- 5 この条例の施行の際現に前項の規定により許可を受けた者及び受理された者とみなされた者の使用料の額については、新条例別表第1の規定を適用する。

- 6 この条例の施行の日の前日において名古屋市青年の家運営審議会の委員である者の任期は、附則第3項の規定による廃止前の名古屋市青年の家条例第13条第4項の規定にかかわらず、その日に満了する。

附 則（平成21年条例第66号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成25年条例第25号）

- 1 この条例は、平成26年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は公布の日から、第4条及び別表第2の改正規定は平成25年7月1日から施行する。

- 2 この条例による改正後の名古屋市青少年交流プラザ条例第12条の規定による名古屋市青少年交流プラザ（分館を除く。）の指定管理者の指定の手続その他の行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第1

1 プラザ（分館を除く。）の施設の使用

使用区分	使用料の額
------	-------

			3時間	6時間	9時間	1日
プレイルーム			2,300円 (4,600円)	4,600円 (9,200円)	6,900円 (13,800円)	9,200円 (18,400円)
活動室A	区画しない場合		1,500円 (3,000円)	3,000円 (6,000円)	4,500円 (9,000円)	6,000円 (12,000円)
	区画する場合	第1室	750円 (1,500円)	1,500円 (3,000円)	2,250円 (4,500円)	3,000円 (6,000円)
		第2室	750円 (1,500円)	1,500円 (3,000円)	2,250円 (4,500円)	3,000円 (6,000円)
活動室B			900円 (1,800円)	1,800円 (3,600円)	2,700円 (5,400円)	3,600円 (7,200円)
ミーティングルーム			400円 (800円)	800円 (1,600円)	1,200円 (2,400円)	1,600円 (3,200円)
音楽スタジオ			2時間 300円 (700円)			
備考						
1 使用時間の区分は、次のとおりとする。						
(1) 3時間						
ア 9時30分から12時30分まで						
イ 12時30分から15時30分まで						
ウ 15時30分から18時30分まで						
エ 18時30分から21時30分まで						
(2) 6時間						
ア 9時30分から15時30分まで						
イ 12時30分から18時30分まで						
ウ 15時30分から21時30分まで						
(3) 9時間						
ア 9時30分から18時30分まで						
イ 12時30分から21時30分まで						
(4) 1日 9時30分から21時30分まで						
2 () 内の額は、第1条のプラザの設置の目的のため以外に使用する場合に適用する。						
3 附属設備の使用料の額は、附属設備の種類又は品目ごとに規則で定める額とする。						

2 分館の施設（宿泊室を除く。）の日帰り使用

使用区分	使用料の額
------	-------

		午前	午後	午前 午後	夜間	午後 夜間	1日
体育 室	スポーツ又は レクリエーシ ョンに使用す る場合	2,400円	2,400円	4,800円	3,000円	5,400円	7,800円
	その他の場合	5,800円	5,800円	11,600円	7,800円	13,600円	19,400円
プレイルーム		5,200円 (2,700円)	5,200円 (2,700円)	10,400円 (5,400円)	7,000円 (3,600円)	12,200円 (6,300円)	17,400円 (9,000 円)
第1活動室		1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
第2活動室		1,800円	1,800円	3,600円	2,400円	4,200円	6,000円
音楽 室	第1音楽室	900円	900円	1,800円	1,300円	2,200円	3,100円
	第2音楽室	1,500円	1,500円	3,000円	1,900円	3,400円	4,900円
和室	第1和室 第2和室 (1室につき)	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第3和室 第4和室 (1室につき)	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
	第5和室 第6和室 第7和室 第8和室 (1室につき)	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第9和室 第10和室 第11和室 第12和室 (1室につき)	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
教室	第1教室	1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円
	第2教室	600円	600円	1,200円	700円	1,300円	1,900円
	第3教室						

	(1室につき)						
第4教室		1,200円	1,200円	2,400円	1,500円	2,700円	3,900円

備考

- 1 使用時間の区分は、次のとおりとする。
 - (1) 午前 午前9時から午後0時30分まで
 - (2) 午後 午後1時から午後4時30分まで
 - (3) 午前午後 午前9時から午後4時30分まで
 - (4) 夜間 午後5時から午後9時まで
 - (5) 午後夜間 午後1時から午後9時まで
 - (6) 1日 午前9時から午後9時まで
- 2 () 内の額は、附属の音響装置及び映像装置を使用しない場合に適用する。
- 3 附属設備の使用料の額は、附属設備の品目ごとに市長が定める額とする。

3 分館の施設の宿泊使用

使用区分	使用者の区分	単位	使用料の額
宿泊室及びその他 の施設（市長が必 要と認めるものに 限る。）	15歳以上30歳未満の者（中学校又はこれ に準ずる学校に在学する者を除く。）	1人1泊	600円
	30歳以上の者	1人1泊	1,900円

備考

- 1 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる
学校に在学する者は、無料とする。
- 2 分館の施設の宿泊使用における宿泊室の使用は、午後4時30分から翌日の午前9時まで
とする。

別表第2

使用区分	使用料の額	
	1日1回	回数券
駐車場（1台につき）	300円	11回分 3,000円
		25回分 5,000円
備考 駐車時間が30分以内のときは、無料とする。		

○名古屋市青少年交流プラザ条例施行細則

平成19年4月25日

規則第85号

改正 平成20年規則第112号

平成21年規則第4号

平成21年規則第72号

平成22年規則第37号

平成24年規則第74号

平成24年規則第95号

平成25年規則第69号

(趣旨)

第1条 この規則は、名古屋市青少年交流プラザ条例（平成18年名古屋市条例第80号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条 名古屋市青少年交流プラザ（以下「プラザ」という。）の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めたときは、臨時に、開館時間を変更し、又は休館日に開館し、若しくは休館日以外の日に休館することができる。

2 市長は、条例第13条第3項の規定により、指定管理者に、別表第1に定める開館時間以外の時間及び同表に定める休館日に開館させようとする場合は、その旨を告示するものとする。

(分館の施設の宿泊使用)

第2条の2 名古屋市青少年宿泊センター（以下「分館」という。）の施設を宿泊使用することができる者は、5人以上の団体とする。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

2 分館の施設を宿泊使用する者は、午前9時から午後9時までに入退館しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、午後9時以後に入館し、又は午前9時以前に退館することができる。

3 別表第1分館の項休館日の欄の規定にかかわらず、市長は、同欄第1号及び第2号に規定する休館日並びに12月29日の午前9時まで宿泊使用させることができる。

(使用許可申請の手続)

第3条 条例第3条第1項の規定によりプラザの施設の使用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した使用申込書を指定管理者に提出しなければならない。

- (1) 使用目的
- (2) 使用区分
- (3) 使用期日及び時間
- (4) 集会又は入場予定人員

- (5) 特別の設備等の要否
- (6) 使用責任者の住所及び氏名
- (7) その他必要な事項

2 前項の申請は、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、同表右欄に掲げる申請期間において、又は申請日から行うことができる。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

区分		申請期間又は申請日
プレイルーム (分館を除く。)	1 青少年の団体が自らの活動の成果の発表のため に使用する場合	使用しようとする日（引き続き2日以上 使用しようとするときは、その最初 の日。以下この表において同じ。）の 属する月の前8月の初日以後
	2 この項第1号に掲げる場合以外に青少年の団 体を使用する場合	使用しようとする日の属する月の前2 月の初日以後
	3 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前1 月の初日以後
分館の施設（宿 泊室及びその他 の施設（市長が 必要と認めるも のに限る。）（以 下「宿泊室等」 という。）に限 る。）	1 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共 催する行事であって、条例第1条第1項のプラザ の設置の目的のために使用する場合	使用しようとする日の属する月の前 12月の初日から使用しようとする日 の1週間前まで
	2 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に 規定する学校、同法第124条に規定する専修学 校若しくは同法第134条第1項に規定する各種 学校（以下「学校」という。）又は児童福祉法 （昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定す る児童福祉施設が使用する場合	
	3 青少年の団体が使用する場合	使用しようとする日の属する月の前3 月の初日から使用しようとする日の1 週間前まで
その他の施設	4 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前2 月の初日から使用しようとする日の1 週間前まで
	1 青少年の団体が使用する場合（分館の施設を 使用する場合を除く。）	使用しようとする日の属する月の前2 月の初日以後
	2 その他の場合	使用しようとする日の属する月の前1 月の初日以後

(使用期間)

第4条 プラザの施設の使用期間(同一人が同一施設を使用する場合に限る。)は、プレイルーム(分館を除く。)については引き続き7日以内、宿泊室等については引き続き4日以内、その他の施設については引き続き3日以内とする。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

(使用の許可)

第5条 条例第3条第1項の規定によるプラザの施設の使用の許可は、使用許可書を申請者に交付することによって行う。

(附属設備の名称及び使用料の額)

第6条 プラザの附属設備の名称及び使用料の額は、別表第2のとおりとする。

(駐車場の使用)

第7条 駐車場を使用する者(駐車時間が30分以内である者を除く。)は、駐車場の使用を終わった際に使用料を納付しなければならない。ただし、回数券による場合にあっては、その交付を受ける際に使用料を納付するものとする。

2 駐車場の使用時間は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める時間とする。ただし、市長が特に必要があると認めたときは、使用時間を変更することができる。

(1) プラザ(分館を除く。) 午前8時45分から午後9時35分まで

(2) 分館 午前8時30分から午後9時15分まで

3 回数券の様式は、市長が定める。

(使用料の減免)

第8条 条例第5条の規定により使用料を減免することができる場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。

(1) 市又は市の機関が主催又は共催する行事に使用するとき。 使用料の全額(宿泊使用の場合にあっては、使用料の5割相当額(100円未満の端数は、切り捨てる。))

(2) 第4号に掲げる手帳の交付を受けている者及びこれに同行する付添人(当該手帳の交付を受けている者1人につき2人以内に限る。)が宿泊使用するとき。 使用料の全額

(3) 青少年のうち18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者の引率者が宿泊使用するとき。 使用料の8割相当額(100円未満の端数は、切り捨てる。)

(4) 次に掲げる手帳の交付を受けている者が乗車している自動車(普通自動車に限る。)を駐車場に駐車させる場合であって、当該手帳を係員に提示したとき。 駐車場の使用料の全額

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳

イ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳

ウ 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条に規定する被爆者健康手帳

エ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

オ 市長の発行する愛護手帳（これに類するものを含む。）

(5) その他市長が特別の事由があると認めたとき。 その都度市長が定める額

2 前項各号の規定（第4号を除く。）による使用料の減免は、申請に基づいて行うものとする。

（使用料の還付）

第9条 条例第6条ただし書の規定により既納の使用料の全部又は一部を還付する場合は、次に掲げるとおりとする。

(1) 使用者の責めに帰することのできない事由によってプラザの施設を使用することができないとき。

(2) 使用者が許可を受けた使用の日（2日以上連続して使用する場合は、その初日をいう。以下「使用日」という。）の前日までに使用の許可の取消しを申し出て、市長が相当の事由があると認めたとき。

2 前項に規定する使用料の還付の額は、次に掲げるとおりとする。

(1) 前項第1号に当たるとき。 使用料の全額

(2) 前項第2号に当たるとき。 使用料の5割相当額（使用日の前7日までに使用の許可の取消しの申出があったときは、全額）

3 使用料の還付を受けようとする者は、使用許可書及び使用料の領収書の写しを添えて、市長に申請しなければならない。

（特別の設備の設置等の承認）

第10条 条例第8条の規定による承認の申請は、使用の許可の申請の際に併せて行うものとする。

（行為の禁止等）

第11条 プラザにおいては、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火気を使用し、又は危険を引き起こすおそれのある行為をすること。

(2) 他人に迷惑を及ぼす行為をすること。

(3) 承認を受けないで寄付金品の募集、サービス若しくは物品の販売又は飲食物の販売若しくは提供を行うこと。

(4) 承認を受けないで広告類を掲出し、又は頒布すること。

(5) 建物その他の工作物を汚損し、又はき損するおそれのある行為をすること。

(6) その他プラザの管理上支障があると認められる行為をすること。

2 使用者は前項に定めるもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 使用者が行う行事に参加する者（以下「参加者」という。）の安全確保の措置を講ずること。

(2) 参加者に前項各号に掲げる行為をさせないこと。

（立入り）

第12条 市長は、プラザの管理のため必要があるときは、使用の許可をした場所に、自ら立ち入り、又はその命じた者若しくは委任した者に立ち入らせることができる。

2 使用者は、正当な理由がない限り、前項の規定による立入りを拒み、又は妨げてはならない。

(退館)

第13条 市長は、この規則に違反し、又は係員若しくは指定管理者若しくはその管理するプラザの管理の業務に従事している者の指示に従わない者に対し、退館を命ずることができる。

(使用权の譲渡等の禁止)

第14条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(指定管理者の公募)

第15条 条例第12条第1項に規定する選定について必要な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 施設の概要
- (2) 指定管理者に行わせる管理の業務（以下「管理業務」という。）の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間
- (4) 選定に参加する者に必要な資格
- (5) 管理の基準
- (6) 管理業務に従事する者に必要な知識及び技能並びに人数の基準
- (7) 管理業務に従事する者の配置の基準
- (8) 管理業務に関し、指定管理者が費用及び危険を負担する範囲
- (9) その他市長が必要と認める事項

2 条例第12条第1項の規定による公募は、告示、インターネットの利用その他の適切な方法により行うものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第16条 条例第12条第2項の規定によるプラザの指定管理者の指定の申請は、名古屋市青少年交流プラザ指定管理者指定申請書（別記様式）によって行わなければならない。

2 条例第12条第2項に規定する事業計画書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 管理業務を行うに当たっての基本的な考え方とその方法
- (2) 管理業務に従事させる者の職種、人数及び職務の内容
- (3) 管理業務を通じて取得した個人情報の保護のために講じる措置の内容
- (4) 管理業務に要する費用の見込額
- (5) その他市長が必要と認める事項

3 プラザの指定管理者の指定の申請をしようとする者は、次に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (2) 指定管理者の指定を受けようとする者の従業員の数、資本の額その他の経営の規模及び状況がわかるもの

(3) その他市長が必要と認める書類

(指定管理者の選定)

第17条 市長は、指定管理者の選定をしようとするときは、名古屋市青少年交流プラザ指定管理者選定委員会を開催するものとする。

(指定等の告示)

第18条 条例第12条第4項の規定による指定の告示は、次に掲げる事項について行うものとする。

(1) 指定管理者の名称及び所在地

(2) 指定管理者の指定の期間

2 条例第12条第4項の規定による指定の取消しの告示は、次に掲げる事項について行うものとする。

(1) 指定管理者の名称及び所在地

(2) 指定管理者の指定を取り消した日

(協定の締結)

第19条 市長は、指定管理者の指定をするに当たっては、当該指定管理者の指定をしようとする者と、プラザの管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を定めるものとする。

(1) 管理業務の具体的内容

(2) プラザの管理費用として、本市が支払う金額

(3) 管理業務に従事させる者の職種、人数及び職務の内容

(4) 管理業務を通じて取得した個人情報の保護のために講じる措置の内容

(5) 管理業務に関し、指定管理者が費用及び危険を負担する範囲

(6) プラザの使用者の苦情解決の措置の概要

(7) 緊急時等における対応方法

(8) その他市長が必要と認める事項

(事業報告書の提出)

第20条 指定管理者は、毎年度5月31日までに、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第7項に規定する事業報告書を、市長に提出しなければならない。

2 前項の事業報告書には、次の各号に掲げる事項を記載しなければならない。

(1) 管理業務の実施状況

(2) プラザの使用状況

(3) プラザの管理経費等の収支状況

(4) 前各号に定めるもののほか、指定管理者による管理の状況を把握するため市長が必要と認める事項

(名古屋市青少年交流プラザ指定管理者選定委員会)

第21条 プラザの管理を指定管理者に行わせるに当たって、指定管理者の選定に公平性及び透明性を確

保するため、名古屋市青少年交流プラザ指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第22条 選定委員会は、事業計画書の内容の審査に関することその他市長が必要と認める事項について調査審議する。

（組織）

第23条 選定委員会は、第25条に規定する指定管理者選定委員をもって組織する。ただし、市長が特に必要と認める場合は、本市の職員のうちから任命した者1人を選定委員会の委員として加えることができる。

2 選定委員会に会長及び副会長を置く。

3 会長は指定管理者選定委員及び委員の互選によって定め、副会長は会長がこれらの委員のうちから指名する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第24条 会長は、必要の都度、選定委員会の会議を招集し、会議の議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、関係職員を会議に参加させることができる。

（指定管理者選定委員）

第25条 法第174条第1項の規定により、指定管理者の選定について、市長に必要な助言をする指定管理者選定委員（以下「選定委員」という。）若干人を置く。

2 選定委員は、青少年の育成、民間経営又は公の施設の管理について識見のある者のうちから市長が選任する。

（選定委員会の庶務）

第26条 選定委員会の庶務は、子ども青少年局青少年家庭部青少年家庭課において行う。

（委任）

第27条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この規則は、平成19年7月7日から施行する。ただし、次項の規定は、平成19年6月1日から施行する。

2 許可の申請その他プラザの施設を使用するために必要な手続は、この規則の施行前においても行うことができる。

附 則（平成20年規則第112号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の改正規定、同条の次に1条を加える改正規定、第3条、第4条、第7条第1項、第8条及び第13条の改正規定、別表を別表第2とし附則の次に1表を加える改正規定、別表第2の表の前に次のように加える改正規定並びに別表第2に1表を加える改正規

定は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年規則第4号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年規則第37号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年規則第74号）抄

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年規則第69号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第7条の改正規定は平成25年7月1日から、第3条の改正規定、第26条から第28条までを削る改正規定、第29条の改正規定及び同条を第26条とする改正規定並びに第30条を第27条とする改正規定は平成26年4月1日から施行する。

別表第1

名称	開館時間	休館日
プラザ（分館を除く。）	午前9時から午後9時30分まで	1 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日法による休日」という。）に当たるときは、その直後の祝日法による休日でない日 2 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
分館	午前9時から午後9時まで	1 月曜日（祝日法による休日並びに名古屋市立の小学校の学年始、夏季、冬季及び学年末における休業日（以下「小学校の休業日」という。）を除く。）。 2 祝日法による休日の翌日（日曜日、土曜日及び祝日法による休日並びに小学校の休業日を除く。）。 3 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

別表第2

1 プラザ（分館を除く。）の附属設備

品目	単位	使用料の額	備考
舞台・照明・音響装置	1式	3時間 1,000円	使用はプレイルームに限る。
音響装置	1式	2時間 500円	使用は音楽スタジオに限る。

2 分館の附属設備

品目	単位	使用料の額					
		午前	午後	午前 午後	夜間	午後 夜間	1日
グランドピアノ	1台	1,200円	1,200円	2,400円	1,200円	2,400円	3,600円
たて型ピアノ	1台	500円	500円	1,000円	500円	1,000円	1,500円
16ミリ映写機	1台	1,000円	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	3,000円

備考

1 使用時間の区分は、次のとおりとする。

- (1) 午前 午前9時から午後0時30分まで
- (2) 午後 午後1時から午後4時30分まで
- (3) 午前午後 午前9時から午後4時30分まで
- (4) 夜間 午後5時から午後9時まで
- (5) 午後夜間 午後1時から午後9時まで
- (6) 1日 午前9時から午後9時まで

2 ピアノの調律及び16ミリ映写機の操作は、使用者の負担とする。

別記様式

名古屋市青少年交流プラザ指定管理者指定申請書

年 月 日

(宛先)名古屋市長

所在地
申請者 名 称
代表者氏名 

次のとおり指定管理者の指定を受けたいので申請します。

申請者	フリガナ名 称				
	所在地	電話番号			
	代表者	フリガナ氏 名		職 名	
		住 所	電話番号		
	種 別	☐ 法人(種類) ☐ 法人以外の団体			
管 理 を 行 お う と す る 施 設		☐ プラザ(分館を除く。) ☐ 分館			
併 せ て 提 出 す る 書 類		1 事業計画書 2 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類) 3 指定管理者の指定を受けようとする者の従業員の数、資本の額その他の経営の規模及び状況のわかるもの 4 その他()			
備 考					

注 該当する□の中にレ印をつけてください。
備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。